

-
- 《グラビア》
- ・施設（本館、勝央町植月中）
 - ・ // （木材加工研究室、真庭市勝山）
 - ・試験研究（林業研究室）
 - ・ // （木材加工研究室）
 - ・優良種子の生産
 - ・普及指導
 - ・展示施設

《創立70周年を迎えて》

目 次

I 沿革	1
II 試験研究業務の変遷	3
1 育林育種技術の開発	3
2 森林保護技術の調査研究	5
3 特用林産物生産技術の開発	6
4 経営機械技術に関する研究	7
5 その他の林業技術に関する調査研究	8
6 材質特性の解明	9
7 加工技術の開発・改良	10
8 木質材料の開発	12
III 70年間の主要な成果	13
1 樹木のふやし方	
2 岡山県の林野土壌	

3	花粉症対策品種の種子生産	
4	抵抗性マツの育成	
5	岡山甘栗の開発	
6	マツタケ菌の新規培養技術	
7	木材の新規乾燥方法と乾燥装置の開発	
8	岡山県産構造用製材のспан表の作成	
IV	過去10年間の主な試験研究の成果	19
	・コンテナ苗を用いた低コスト造林技術	20
	・気候変動に適応した花粉発生源対策スギの作出技術開発	21
	・植栽された少花粉スギの成長はいかに	22
	・早生樹種の選抜・育成に関する調査研究	23
	・高齢級人工林の資源量推定	24
	・造林地の獣害対策に防護柵は有効か？	25
	・木の力を生かしてナラ枯れから森を守る	26
	・きのこの原木栽培を省力化できるか	27
	・マツタケ菌の栄養源は何か	28
	・岡山甘栗の栽培技術の確立	29
	・コンテナ容器を利用した菌根性きのこ感染苗の育成	30
	・「伐倒同時集材方式」の効率的な施業方法の提案	31
	・спан表を作ったよ	32
	・内装に無垢材を施工するために	33
	・丸太を乾かす	34
	・岡山県産ヒノキ・スギの表面を硬くする	35
	・樹木を寒さから守るよ	36
IV-2	過去10年間の研究課題の推移	37

V 優良種苗確保事業	41
1 育種	41
2 種子採取事業	45
3 苗木養成事業	46
VI 普及指導	47
1 林業普及指導員の役割	47
2 森林・林業技術研修の実施	47
3 木材業界への技術支援	50
VII 平成25年度以降に取得した知的財産権	51
・樹皮粉碎物を含む壁面緑化ボードの製造方法	51
・木材の乾燥方法、および木材用の乾燥装置	52
・マツタケ菌糸体培地用添加剤及びマツタケ菌糸体の培養方法	53
・樹木用の寒害防止材	54
・炭化炉、炭化装置およびバイオマス暖房機（4件）	55
VIII 試験研究成果の公表	57
IX 職員の表彰	81
(参考)	
・現在の森林研究所の概要	84
・矢野恒太翁頌徳碑	88